



立法例モアリマス、影響ガ有ルケレドモ、全部破産若クハモ  
ガ無イト云フヤウニナツテ居ル所モアリマス、此案ニハ辨済  
ヲ受ケタモノニ付テハ、ソレヲ控除シタルモノヲ以テ、破産  
ノ基本額トスルト云フコトヲ定メタ譯デアリマス  
○岩崎委員 尚ホ御尋シタイ、私想フニ既ニ辨済ヲ受ケテ  
居ル債權ノ一部ガ辨済サレテ居ルニ拘ラズ、其全部ニ付テ  
破産財團ノ債權者ノ權利ヲ行使スルト云フ場合ニ於テ特別  
ナ法ヲ置ク、所ガ第二十四條ノ場合ハ、是ハ債權ノ性質カラ  
當然出テ來ル結果デアル、政府委員ハ變態規定デアル、サウ  
云フ事柄ニ付テ變態規定ヲシテ居ル立法令ガアルカラ、常  
態モ亦之ヲ規定シナケレバ、ナラヌト云フコトハ、是ハ法律  
ノ規定ト云フモノニ蛇足ヲ添エルモノデハナイカトと思フ  
○池田政府委員 必シモ蛇足デナイト思ヒマス、度々言フ  
ヤウデアリマスガ、辨済ヲ受ケルコトヲ得ナイト云フコト  
ハ勿論デアリマシテ、一部ノ辨済ヲ受ケテ居レバ、其部分ニ  
付テ辨済ハ受ケラレヌ、唯ダ破産手續ニ加入スルコトニナ  
ル場合ニハ、其基本額ヲ幾ラニスルカト云フコトニナルノ  
デアリマシテ、詰リ破産債權者トシテ權利ヲ行フト云フ場  
合ニハ、必シモ辨済ヲ受ケル配當ヲ受ケルト云フコトガアッ  
テモ、債權者集會等デ以テ議決權ヲ行フ場合ニハ、矢張破産  
債權額ヲ基本トシテ行フ、其基本額ト云フモノヲ何レニス  
ルカト云フト、是ハ必ズシモ今ノ問題トハ牽連シナイト思  
ヒマス、既ニ加入シマシタ債權ニ付キマシテモ、配當ヲ順次  
ニシテ行キマスレバ、債權ノ額ト云フモノハ段々減テ参リ  
マスケレドモ、矢張集會ニ於テ議決權ヲ行フ所ノ破産債權  
ノ基本額ト云フモノハ、最初届出マシテ確定シタ所ノ債權  
額ヲ基本トシテ進ンデ參ル、斯ウ云フ事ニナリマス  
○岩崎委員 サウスルト私ハ此字句ノ解釋ニ付テ政府委員  
ト所見ヲ異ニシテ居ルカモ知レマセヌガ、債權ノ全額ト云  
フコトハ、政府委員ハ當初ノ債權ノ全額ト云フ意味デスカ、  
實在ノ債權ノ全額ト云フ意味デスカ  
○池田政府委員 當該破産ニ加入シマスル際ニ於テ實在シ  
テ居ル所ノ、債權ノ全額ト云フコトデアリマス  
○岩崎委員 デアルカラ私ハ益々其不必要ヲ感ズルノデス  
ガ、併シ有ツテ害无イ法文デスカラ、之ニ關スル質問ハ是  
位ニ措イテ置キマス

レマセヌガ、サウ云フ越意デハアリマセヌ、御話ノヤウナシタノハ、岩崎サンノ質問ニ對スル答辯ノ一ツノ理由トシマシテ、二十四條ハ數個ノ破産ガアツタ場合ヲ想像シテ居リマスケレドモ、一個ノ破産ガアリマシタ場合デモ、一個ノ破産ニ付テ申シマシテモ、最初ニ破産宣告ノ時ニ有シテ居タ債權ヲ届出デル、其前ニ一部分ノ辨濟ガアレバ、其部分ヲ差引イタモノヲ届出ル、ソレデアリマスカラ調査ガ確定シマスレバ、爾後其債權額ニ基イテ順次ニ配當シテ参リマシテ、段々其債權が減<sup>テ</sup>参リマスケレドモ、併ナガラ減<sup>テ</sup>モ、例ヘバ破産債權者ノ集會ヲスルト云フトキノ議決權ハ債權ノ額ニ依ル、其債權額ト云フモノハ、配當ニ依<sup>テ</sup>順次ニ減<sup>タ</sup>モノヲ一々變<sup>ヘ</sup>テ、ソレデ以テヤ<sup>ッ</sup>テ行クカト云フトサウデハナイ、矢張最初ノ届出デ確定シタ所ノ債權ノ額ヲ本ニシテ、サウシテ集會ニ於ケル議決權ノ基本等ヲ定メル、配當ノ基本ト云フモノハソレニ依<sup>テ</sup>定メテ行ク、斯ウ云フ意味ニナル、一個ノ破産ニ於テモ亦其通リデアル、數個ノ破産ノ場合ニ於テモ、矢張此債權ノ實額ト云フモノト、破産債權者トシテ其權利ヲ行フ所ノ債權ノ額ト云フモノトハ、必シモト云フ場合ニ、甲ノ破產財團ニ加入スル所ノ債權ヲ幾ラト採ルカ、ソレニ一部分ノ辨濟ガアツタト云フ場合ニ今度乙ガ又破産ヲシタ、前ノ権利者ガ破産ヲシタ、其乙ノ破産財團ニ加入スル際ニ幾ラト見ルカ、矢張前ニ甲ニ届出タ金額ト見ルノガ瑞西ノ主義デアル、甲ノ財團ガ一部分ノ辨濟ガアツタト云フ場合ニ、乙ノ破産ニ加入スル際ニ、其辨濟ガアツタルモノハ見ナイデ、矢張元ノ債權デ以テ加入スルト云フノガ、ソレガ寧ロ佛蘭西ノ採<sup>テ</sup>居ル主義デアル併ナガラ任意ノ辨濟ガアツタ、破産法ニ依ラヌデ、辨濟ガアツタモノハ、是ハ差引クト云フノガ矢張佛蘭西ノ主義デアル、ソレデ任意辨濟タルト、破産配當ニ當ル辨濟タルトヲ問ハズ、苟モ辨濟ノアツタモノナラバ之ヲ差引クト云フノガ、此ニ採<sup>テ</sup>居ル主義デアリマス、ソレデサウ云フヤウナ破産法上議論ノ存スル問題デアリマスカラ、此規定ヲ置カザリシナラバ、蓋シ疑義ヲ残スコトグラウト思ヒマス

○野副委員 私ハ遲レテ參ッタノデ、或ハ既ニ明ニナツテ居ル事デアルカモ知レマセヌガ、只今ノ御説明ニナツテ居リマス基本債権ノ關係デアリマスガ、八十四條ニナリマスレバ、破産宣告ノ日ヨリ一年前ニ爲シタル行爲ハ、否認スルコトガ出來ルト云フコトニナツテ居リマス、サウスルト辨濟ガ否認サレタト云フヤウナ場合ニ於テハ、基本債権ハ矢張影響ヲ受ケナイデ、辨濟ヲ受ケタリトシテ差引カレタ金額、即チ最初届出デタル金額ガ其儘残ツテ行クノデアリマセウカ、或ハ否認サレタ場合ニ於テハ、基本債権額ト云フモノハ増加スルト云フコトニナルノデアリマセウカ、其點ニ付テ御説明ヲ願ヒタイ

○池田政府委員 八十四條ヲ御引キニナリマシタガ、是ハ「否認スルコトヲ得ス」ノ方デスカ……

○野副委員 八十四條ハ一寸誤解シテ居リマシタガ、何所カニ一年以内ノハ否認ガ出來ルト云フコトガアッタヤウニ思ヒマス、其場合デス

○池田政府委員 或ハ御問ノ趣旨ヲ誤解シテ居ルカ知リマセヌガ、破産債権者ガ破産者ヨリ辨濟ヲ受ケル、所ガ其辨濟ト云フモノハ破産法ノ規定ニ依リテ否認スベキ行爲デアッタト假定致シマシテ其辨濟ガ否認セラレタト云フトキニハ、其破産債権ノ額ト云フモノハ如何ナルカト云フ御質問ト思ヒマス、ソレハ七十九條ヲ御覽下サイマスト「破産者ノ行爲カ否認セラレタル場合ニ於テ相手方ガ其ノ受ケタル給付ヲ返還シ又ハ其ノ價額ヲ償還シタルトキハ相手方ノ債権ハ之ニ因リテ原狀ニ復ス」トナツテ居リマス、辨濟シタルモノヲ返還スル義務ガアルコトニナリマス、返還スレバ其債権ハ依然トシテ舊ノ通リノ債権ニ復ル、斯ウ云フ事ニナルノデアリマス

○釐委員 三十四條デアリマスガ「相續財產ニ對シテ破産ノ宣告アリタルトキハ相續人ノ債権者ハ破産債権者トシテ其ノ權利ヲ行フコトヲ得ス」是モ前ニ議論ノアリマシタヤウニ、全ク不要ナ條文ノヤウニアリマスガ如何デスカ

○池田政府委員 三十四條ノ趣旨ハ斯ウデアリマス、相續財產ニ對シテ破産ノ宣告ガアッタ、ト申シマスルトキニ、民法ノ規定カラ申シマスレバ、相續財產ハ矢張相續入ノ財產ニナツテ居ルノデアリマス、デアリマスカラ相續人ノ債権者ト云フモノモ、矢張ソレニ從ツテ辨濟ヲ受ケ得ルト云フ權利ヲ有ツテ居ルノデアリマス。民法カラ申シマスレバ——併ナガラ是ハ相續人ノ債権者ト云フモノハ、相續債権者即チ先代ノ債権者ヨリモ遅レテ返済ヲ受ケル順位ニ在ル故ニ、結果之ヲ破産債権者トシテ、相續財產ノ財團ノ仲間入ヲサセマシテモ其相續財產ヨリ先代ノ債権者ガスッカリ取りマシテ、其殘りノ物カラ返済ヲ受ケルト云フコトニ止マル、サウ

ナレバ其餘リノアル場合ヲ考ヘマスルト、餘リガ無ケレバ全部取レマセヌカラ、餘リ有ルトキヲ考ヘマスレバ、態々相続財産ノ仲間ニ入レマシテ、破産關係ヲソレダケ複雜ニスルヨリモ、破産手續ニ於テハ権利ヲ行フコトヲ得サシメテ置イテ、相續財產カラハ先代ノ債權者ノミガ配當ヲ受ケテ、若シ残リガ有ルナラバ之ヲ相續人ニ渡ス、ソレカラ今度ハ相續人ニ對シテ、相續人カラ破産手續外ニ於テ其支拂ヲ受ケシムルト云フ方ガ、結果ガ同様デアツテ事ガ簡デアルト云フコトデ、此規定ヲ置カレマシタノデ、寧ロ民法ノ規定ニ對スル、ノ除外的ノ規定ニナツテ居ルヤウナ次第アリマス。

○鶴委員 三十九條ニ「一般ノ優先權アル破産債權ハ他ノ債權ニ先ツ」ト云フノガアリマスガ、之ニハ國稅ガ包含シテ居リマスカ

○池田政府委員 此一般優先權アル債權ト云フモノハ、保險業法ノ九十六條ニ其規定ガアリマス、一寸今此所ニ明文ヲ持チマセヌガ、一般ノ優先權ヲ有ツテ居ル者ノ規定ガ出サレテアリマス、其等ヲ主ニ視テ居ルノデアリマシテ、只今御示ノ國稅等ハ寧ロ四十七條ノ二號ニアリマシテ、財團債權トセラレチ居ルヤウナ譯デアリマス

○前田委員長 モウ御質問ガゴザイマセヌケレバ、第四章財團債權ノ章ヲ議題ト致シマスカラ、御質問ガアレバ……

○鶴委員 三十九條ニ「一般ノ優先權アル破産債權ハ他ノ債權ニ先ツ」ト云フノガアリマスガ、之ニハ國稅ガ包含シテ居リマスカ

○池田政府委員 此一般優先權アル債權ト云フモノハ、保険業法ノ九十六條ニ其規定ガアリマス、一寸今此所ニ明文ヲ持チマセヌガ、一般ノ優先權ヲ有ツテ居ル者ノ規定ガ出サレテアリマス、其等ヲ主ニ視テ居ルノデアリマシテ、只今御示ノ國稅等ハ寧ロ四十七條ノ二號ニアリマシテ、財團債權トセラレチ居ルヤウナ譯デアリマス

○前田委員長 モウ御質問ガゴザイマセヌケレバ、第五章法律行為ニ關スル破産ノ效力ノ章ニ移リマス

○岩崎委員 私ノ御尋致シタイノハ、第五十六條ノ規定デアリマス、第五十六條前半ノ規定、此規定ニ依ルド「破産宣告ノ後其ノ事實ヲ知ラスシテ破産者ニ爲シタル辨濟ハ之ヲ以テ破産債權者ニ對抗スルコトヲ得」ト云フコトニナツテ居ル、此破産モ、破産宣告ト云フモノハ絶對的ノモノトシテノ效力ヲ認メテ居ルノハ、一ノ法文ニ於テ明瞭ニナツテ居ル思フ、此點ニ於テ破産ノ效力ニ絶對的ノ效力ニ付テ、何カ例外ヲ求メテ居ルヤウニ見エバ、之ニ付テノ政府委員ノ所見ハ如何デアリマスカ

○池田政府委員 或ハ御尋ノ趣旨ヲ誤解シテ居ルカモ知レマセヌガ、若シサウデアッタラ更ニ御質シヲ願ヒタノデアリマスガ、破産宣告ノ效力ハ詰リ法律行為ニ對スル所ノ法律ガ絶對的ノモノデアルカ、此所ニ破産債權ニ對抗スルコトヲ得ト書イタノハ、稍關係的ノ規定デアリマシテ、其原則ニ對スル是ハ除外的ノ精神ニナルカト云フ御尋ノヤウデアリマスガ、其事ニ付テハ先ツ第七條ノ破産財團ノ管理及處分ヲ爲ス權利ハ、破産管財人ニ專屬スルト云フコトニナツテ居リマス、故ニ破産管財人が専ラ管理處分ヲスル權限ヲアリマスガ、其事ニ付テハ先ツ第七條ノ破産財團ノ管理及處分ヲ爲ス權利ハ、破産管財人ニ専屬スルト云フコトニナツテ居リマス、ソレト對照シマシテ、此專屬ト云フコトノ有シテ居リマス、ソレト對照シマシテ、此專屬ト云フコトノ意味ハ如何ナル、意味デアルカト云フコトハ、五十三條ニソ

レト丁度對照スル規定ガアル「破産者カ破産宣告ノ後破産財團ニ屬スル財產ニ關シテ爲シタル法律行為ハ之ヲ以テ破産債權者ニ對抗スルコトヲ得ス」トアリマシテ、即チ破産債權者ヲ害セザル程度ニ於テ必シモ絶對的ニ無效トスルコトノ越意デナイト云フコトニナツテ居リマス、只今御質問ノアリマシタ五十六條等モ、是モ破産者ニ對シテ爲シタル辨濟デアリマス、破産宣告ノ效力ハ絶對的ノモノデナイ、必シモ除外的ノ意味デナイト御考ヲ願ヒマス

○岩崎委員 更ニ破産宣告ノ後ニ破産宣告ノ事實ヲ知ラナイデ、元來言ヘバ破産財團ニ關係スル事柄ニ付テハ、破産管財人ニ專屬シテ居ルコトデアリマスカラ、破産財團ニ專屬スルコトモ至當デアル、其破産宣告ノ事實ヲ知ラナイ、故ニ破産債權者ガ直接爲シタル行為デアルカラ、其破産債權者ニ對スル對抗力ヲ規定シタモノデアリマスカラ、破産宣告ノ效力ト云フモノハ絶對的ノモノデアルト云フコトニナル、他ノ多クノ法文ニ於テ十分ニ解スルコトガ出來ルノデアリマス、此點ニナツテ來ルト、其破産宣告ノ效力ト云フモノハ、上カラ云フタラバ、破産管財人ニ對シテ辨濟ヲシナケレバナラヌガ、破産者ニ對シテ爲シタル債權ハ、尙ホ破産財團ニ對抗ガ出來ルト云フ除外例ヲ爲シタルモノト見ラレルノデアリマス、其點ヲ……

○池田政府委員 或ハ私ノ間違デアッタカモ知レマセヌガ、是ハ破産管財人ガ破産者ニ對スル破産ノ辨濟ヲ受ケルト云フ權限ヲ持ツノハ、是ハ七條カラ明テアリマス、其規定ニ反シタモノデアレバ、即チ破産債權者ニ對抗スルコトヲ得スト云フコトニナル譯デアリマス、併ナガラ善意ヲ以テ宣告ノ事實ヲ知ラズシテ、辨濟シタ以上ハ、之ヲ有效ト認ムルノガ至當デアラウト云フ所カラ、對抗スルコトヲ得ズト云フコトノ除外例ヲ設ケタ次第アリマス

○作間委員 私ハ最初カラ委員ノ指名ヲ受ケテ居タノデアリマスルガ、陪審法、刑事訴訟法ノ方へ今迄ハ參テ居タカトニ除例外ヲ設ケタ次第アリマス

○前田委員長 サウデス、此法案ニ付キマシテハ、初メ一般の御質問ガアリマシテ、ソレガ終リマシテカラ、逐章デヤラウト云フ風ニ詳細ニ御質問ニナルト云フコトハ、章ヲ逐條デ進メテ行クト云フコト、或條ヲ目的トシテ、條ヲ逐メラレルコトニ御決定ニナツテ居ルノデアリマスカ

○前田委員長 サウデス、此法案ニ付キマシテハ、初メ一般の御質問ガアリマシテ、ソレガ終リマシテカラ、逐章デヤラウト云フ風ニ詳細ニ御質問ニナルト云フコトハ、章ヲ逐條デ進メテ行クト云フコト、或條ヲ目的トシテ、條ヲ逐メラレルコトニ御決定ニナツテ居ルノデアリマスカ

○作間委員 無論章ニ依ツテハ逐章デ結構ナ場合モアリマスガ、此第五章ノ法律行為ニ關スル破産ノ效力ト云フ所ハ、マセヌガ、若シ重大ナ條項ニ御質問ガアレバ、御遠慮ナク逐條デヤツテ載イテモ宜シイデス

○作間委員 ソレデハドウカ成ベク緩クヤツテ戴キタイ

○前田委員長 サウスルト、今迄通リ章ヲ逐ウテヤツテ行キマスガ、若シ重大ナ條項ニ御質問ガアレバ、御遠慮ナク逐條デヤツテ載イテモ宜シイデス

○作間委員 「岩崎君ノ説ニ賛成」ト呼フ者アリ

○前田委員長 サウスルト、今迄通リ章ヲ逐ウテヤツテ行キマスガ、若シ重大ナ條項ニ御質問ガアレバ、御遠慮ナク逐條デヤツテ載イテモ宜シイデス

○作間委員 五十四條ニ付テ伺ヒマス「其ノ取得ハ之ヲ以テ破産債權者ニ對抗スルコトヲ得ス」此取得ノ途ハ、土地收用法ニ依ツテ收用サレタ取得モ矢張這入ルノデスカ

○池田政府委員 只今ノ御尋ハ破産財產ニ屬スル財產ヲ、土地收用法ニ依ツテ第三者ガ取得シタ場合ニ、其取得ハ破産債權者ニ對抗スルコトガ出來ルカドウカト云フ御質問デスカ

○鶴委員 左様デス  
○池田政府委員 土地收用法トノ關係ハ多少研究問題カモ知レマセヌガ、公益ノ必要上財團ニ屬スル所ノ土地ヲ收用產債權者ニ對シテハ、對抗スルコトヲ得ベキモノトナラネバナラヌト考ヘマス  
○鶴委員 サウスルト對抗スルコトガ出來ルヤウニナラネバナラヌト云フノデスカ

○池田政府委員 サウ思テ居リマス  
○岩崎委員 私ハ此六十七條ノ規定ニ付テ「御尋シタイ、第六十七條ニ「數人共同シテ財產權ヲ有スル場合ニ於テ共有者ノ中破産ノ宣告ヲ受ケタル者アルトキハ分割ヲ爲ササル定アルトキト雖破産手續ニ依ラスシテ其ノ分割ヲ爲スコトヲ得」ト云フ規定ガアル、是ハ洵ニ結構ナ規定デアラウト思ヒマスガ、先づ第一ニ手取早ク御尋致シマスガ、是ハ任意規定ナシスネ

○池田政府委員 分割ヲ爲ササル定ガアリマシテモ、例ヘバ民法ノ規定ニ依リマスレバ、五年ヲ限ツテアリマシタカ、分割ヲ爲サ、ル約束ガ出來ルト云フコトニナツテ居リマス、其約束ガアッテモ之ニ拘ラズ分割ガ出來ル、斯ウ云フ趣意ニナルノデアリマシテ、之ヲ更ニ又分割スペカラサルモノニスルト云フコトハ出來ナイ、結局其意味ニ於テ申シマスレバ、反對ノ約束ヲ許サナイト云フ性質ノモノト考ヘマス  
○岩崎委員 サウスルト強制的ニナツテ居リマスナ、サウスルト第一項ノ中ノ不可分債權ト云フモノハ、契約ニ依ル不可分債權ハ今御話ノ通りアリマスガ、性質上ノ不可分債權ト云フモノハ此中ニ入ツテ居リマセヌカ

○池田政府委員 法律上分割ヲ爲スコトヲ得ザルモノハ外ニモ有リマスカ、其等ノモノモ此規定ヲ以テ、分割ヲ爲サンメルト云フ趣意デナイト思ヒマス

○池田政府委員 サウシマスルト、分割シ得ルモノヲ分割シナイト云フ普通契約ニ付テモ、共同債權デアルト見テ宜ウゴザイマスカ

○池田政府委員 大體左様ニナルト思ヒマス  
○野村委員 或ハ順序ガ違ツテ居ルカ知レマセヌガ、一寸御尋シテ見タインハ、一體破産法ト云フ名ガ洵ニドウモ誰ノ頭ニモ好イ感ジガシマセヌ、サウシテ性質ハ債權者ノ共同債權管理法ニ屬スルモノデアリマスガ、其立案ノ時ニハ、破産法ト云フ厭ナ思フスルコトヨリ、寧ロ共同管理法トカ云フヤウナ名稱ヲ用ヰタ方ガ適當ノヤウニ考ヘマスガ、當時何カ是ニ對シテ、審議會デ意見デモ出スコトハアリマセヌカ

○池田政府委員 多少其話モアリマシタガ、貴族院ノ委員會デモ其話ハ出マシタ、成程餘リ好イ感ジハシマセヌガ餘

程前カラ用キラレテ居リマスルン、各種ノ法律モ矢張破産トナツテ居リマス、ソレデ是ヨリ特ニ好イ名稱ヲ案出スルコトガ出來ナカッタ爲、從來ノ言葉ヲ踏襲サレタ次第デアリマスガ、名稱ヲ改正シヤウト云フ修正ノ意見等ハ無カッタノ

○池田政府委員 只今ノ申出位ノ程度デ、結局ソレデハ之ヲ改メヤウトカ、改ムレバ斯ウシヤウト云フ話ハ出ナイデ

○作間委員 此破産宣告以後ニ於テ、破産債權者ガ爲ス所ノ手形ノ償還請求其外法律上ノ催告ノ手續ト云フヤウナモノハ、總テ管財人ニ對シテ之ヲ爲スペキモノデアルト云フコトハ、手續規定ノ方デヤルヤウニナツテ居リマスカ、別ニナツテ居ル場合ガ無イノデアリマスカ、無イトスレバ、矢張此效ガ規定ノ中ニ入レベキモノデハナインデアリマスカ、其邊ヲ伺ヒマス

○池田政府委員 財團ノ管理處分ノ權ガ破産管財人ニ屬スル、即チ財團ニ屬スル財團權ト云フモノハ、其種類ガ隨分多數アルヤウデアリマス、權利ノ行使ノ手續ニ於テモ色々々變ラタモノガアリマス、其等ノモノハ矢張ノ一個トシテ、管財人ト云フモノガ其怡モ權利者デアルヤウナ地位ニ立ツテ、破産者ニ屬スル權利ヲ執行スル、又受ケルト云フコトニ相成ルノデアリマス、別ニニシテ單純ナル財產トスルト云フ手續ハ、是ハ破産宣告ノ後ノ事デアルケレドモ、破産外ニ於テ、是ハ全ク民法ノ規定ニ依ツテ之ヲ行フト云フコトノ趣旨ヲ明ニシタ譯デアリマス

○作間委員 六十九條ニ關シテ破産財團ニ屬スル財產ニ關シ、破産宣告ノ當時繫屬スル訴訟ノ受繼人——破産宣告ノ場合ニ、此受繼人ハ無論破産管財人デナケレバニアラヌガ、六十九條ニハ「破産管財人又ハ相手方ニ於テ之ヲ受繼クコトヲ得」トシテアッテ、受繼ガザルノ事由ヲ存シテ居ルヤウデアルガ、破産管財人ガ之ヲ受繼クマイト思ヘバ、受繼カズニ故任シテ其儘ヤラシテモ宜イト云フ御趣意デアリマスカ、今一つハ相手方ニ於テ之ヲ受繼ク、此相手方ニ於テ之ヲ受繼クト云フノハ、ドウ云フ場合ヲ豫想シテ規定セラレタ譯デアリマセウカ

○池田政府委員 ソレハ今判明シマセヌガ、多分無カッタラウト思ヒマス、詰リ今申シタヤウナ趣意デ財團ニ屬スル財産ノ管理處分ノ權ニアルト云フコトデ、其通リニ行クト思ヒマス

○作間委員 此管財人ガ、破産者ノ爲ニ破産者ニ代ツテ法律行為ヲ爲シ、或ハ受ケルト云フ抱括的規定ハ、管財人ノ處分ニ明ニシテアリマスナ、抱括的ニ明ニシテアレバ、宜イノデアリマス、所ガ管財人ハ條文ニハ明ニシテナイヤウデアリマスナ

○池田政府委員 ソレハ今判明シマセヌガ、多分無カッタラウト思ヒマス、詰リ今申シタヤウナ趣意デ財團ニ屬スル財ノ規定スル所デアリマス、デ破産者ヲシテ其訴訟手續ヲ爲サシムルコトガ出來ナイト云フコトハ、是ハ當然ノ次第アリマス、管財人ハ職責上之ヲ受繼クベキモノデアル、受繼クベキコトヲ職責トシテ居ルモノデアルガ、併ナガラ其手續ヲ怠リテ居ルタトキニハ、相手方ノ保護ヲ爲スノ必要ガアル、御承知ノ通リニ民事訴訟法ノ規定ニ依リマスレバ、訴訟ヲ受繼クベキモノガ受繼ガシリシトキハ、色々ナ手續ヤ定ガアリマス、裁判所ノ裁判ヲ待ツテ受繼クト云フヤウナコトニナツテ居ルガ、其等ノ煩ラ避ケルガ爲ニ、相手方モ之ヲ受繼クコトヲ得ル、相手方ガ受繼クト云フコトハ、少シク言葉トシテハオカシナ所モアリマスケレドモ、此例ハ外ニモ有ツタカト志フ。即チ相手方カラモ此管財人ヲシテ受繼カシタ一方ノ意志表示ヲ以テ、其訴訟ト云フモノハ管財人ニ對シテ繫屬セシメ、管財人ガ當事者トシテ引出サレルト云フコトガ規定サレテ居ル、簡單ナ受繼ノ方法ヲ定メタ譯デアリマスカ

○池田政府委員 其強制執行ノ繼續中ニ、或ハ假差押、假處分ノ繼續中、破産ニナツタ云フ場合ヲ七十條ハ豫想シテ居リマス  
○作間委員 其場合ダケノ事ヲ豫想シテ居リマス  
○池田政府委員 其通リデアリマス  
○岩崎委員 第六十七條ノ第一項ノ規定ヲ、モウ少し簡單明瞭ニスルコトハ出來マセヌカ「破産手續ニ依ラスシテ其ノ分割ヲ爲スコトヲ得」ト云フ規定ニナツテ居リマスカ、是ト云フコトニナツテ居ル方ガ、大變明瞭ノヤウニ思ヒマス、政府委員ノ御所見ハ如何デスカ

○池田政府委員 是ハ詰リ共有者ノ持分ト云フモノガ、結局破産財團ニ這入ルヤウナ譯デアリマス、ソコデソレヲ分割コトハ、手續規定ノ方デヤルヤウニナツテ居リマスカ、別ニナツテ居ル場合ガ無イノデアリマスカ、無イトスレバ、矢張此效ガ規定ノ中ニ入レベキモノデハナインデアリマスカ、其邊ヲ伺ヒマス

○池田政府委員 是ハ詰リ共有者ノ持分ト云フモノガ、結局破産財團ニ這入ルヤウナ譯デアリマス、ソコデソレヲ分割コトハ、手續規定ノ方デヤルヤウニナツテ居ル方ガ、大變明瞭ノヤウニ思ヒマス、政府委員ノ御所見ハ如何デスカ

○作間委員 六十九條ニ關シテ破産財團ニ屬スル財產ニ關シ、破産宣告ノ當時繫屬スル訴訟ノ受繼人——破産宣告ノ場合ニ、此受繼人ハ無論破産管財人デナケレバニアラヌガ、六十九條ニハ「破産管財人又ハ相手方ニ於テ之ヲ受繼クコトヲ得」トシテアッテ、受繼ガザルノ事由ヲ存シテ居ルヤウデアルガ、破産管財人ガ之ヲ受繼クマイト思ヘバ、受繼カズニ故任シテ其儘ヤラシテモ宜イト云フ御趣意デアリマスカ、今一つハ相手方ニ於テ之ヲ受繼ク、此相手方ニ於テ之ヲ受繼クト云フノハ、ドウ云フ場合ヲ豫想シテ規定セラレタ譯デアリマセウカ

○池田政府委員 破産財團ニ屬スル財產ニ關シマシテ、宣告ノ當時ニ繫屬スル訴訟ハ中斷サル、コトハ、民事訴訟法ノ規定スル所デアリマス、デ破産者ヲシテ其訴訟手續ヲ爲サシムルコトガ出來ナイト云フコトハ、是ハ當然ノ次第アリマス、管財人ハ職責上之ヲ受繼クベキモノデアル、受繼クベキコトヲ職責トシテ居ルモノデアルガ、併ナガラ其手續ヲ怠リテ居ルタトキニハ、相手方ノ保護ヲ爲スノ必要ガアル、御承知ノ通リニ民事訴訟法ノ規定ニ依リマスレバ、訴訟ヲ受繼クベキモノガ受繼ガシリシトキハ、色々ナ手續ヤ定ガアリマス、裁判所ノ裁判ヲ待ツテ受繼クト云フヤウナコトニナツテ居ルガ、其等ノ煩ラ避ケルガ爲ニ、相手方モ之ヲ受繼クコトヲ得ル、相手方ガ受繼クト云フコトハ、少シク言葉トシテハオカシナ所モアリマスケレドモ、此例ハ外ニモ有ツタカト志フ。即チ相手方カラモ此管財人ヲシテ受繼カシタ一方ノ意志表示ヲ以テ、其訴訟ト云フモノハ管財人ニ對シテ繫屬セシメ、管財人ガ當事者トシテ引出サレルト云フコトガ規定サレテ居ル、簡單ナ受繼ノ方法ヲ定メタ譯デアリマスカ

リマス

○作間委員 相手方カラ管財人ヲシテ、先づ分り易ク言へバ受繼ガシメル手續ヲスルコトハ出來ヌト云フ意味ニ於テ、相手方ト云フノハ分リマシタガ、破産管財人ガ受繼クコトヲ得ルト云フノハ、是ハ職権限ヲ定メタノデアリマスルガ、要スト云フ意味トハ違フノデ、場合ニ依テハ受繼ガスデモ宜イト云フコトニナルノデスカ

○池田政府委員 是ハ権限ノ方面カラ現定サレテ居ルガ、職責上此訴訟ト云フモノハ自ラ完結スペキモノデアルカラ、受繼ガナケレバナラヌト云フコトハ、職責カラ之ヲ言フノデアリマス

○金光委員 私ハ法律ノ事ハ能ク分リマセヌガ、先刻岩崎君ノ御質問ニ、六十七條ノ第一項ノ「破産手續ニ依ラスシテ其ノ分割ヲ爲スコトヲ得」ト云フコトニ付テノ御尋ニ對シテ、政府委員ノ御答ハ、是ハ任意ノ規定デハナイト云フコトデアリマシタガ「爲スコトヲ得」ト云フ文字カラ考ヘマスレバ、是ハ破産手續ニ依ラナクテ分割シテモ宜シイ、又半面ニハ破産手續ニ依テ分割シテモ宜シト云フ、サウ云フ意味ノ任意ノ規定ノヤウニモ思ヒマスルガ、サウ云フノデセウカ

○池田政府委員 破産手續ニ依ル分割ト云フコトデハ勿論ナイノデアリマシテ、破産手續外ニ於テ、民法ノ規定ニ從ツテソレドク分割ガ出來ルト云フコトガ定メタノデアリマス、破産手續中ノ一ツノ事デアリマスガ、必シモ破産手續ニ依ランデ、民法ノ規定デヤルト云フノデアリマスル

○金光委員 ドウモ此破産法ノ中ニ破産手續ニ依ラズシテ出スト云フコトハオカシイデス、政府委員ノ御答ノヤウニナルト、是ハ詰リ分割ヲ爲スベシト云フヤウナ意味ニナルノデスナ

○池田政府委員 管財人ハ分割ヲ爲サネバナラヌト云フコトニナラウト思ヒマス、此爲ニ二項ノ規定ガアリマスガ、共に者ガ相當ノ償金ヲ拂テ破産者ノ持分ヲ取ル、是モ亦一つノ簡易ノ分割ト云ヘバ分割デアルガ、此手續ノ認メラレテ居ルノハ、此二項カラ明カデアリマス、此手續ニ依ラザル以上ハ、持分ハ其儘ニシテ置クト云フコトハ、ドウモ破産手續ノ遂行上困ルカラ、之ヲ簡易ニ分割ガ出來ルト云フコトヲ定メタ譯デアリマス

○野副委員 持分トシテ處分スルト云フコトハ、認メナイト云フコトニナルノデスカ

○池田政府委員 此第二項ナドハ、即チ持分トシテノ處分ヲ認メタツノ例證デアリマス

○野副委員 他ノ場合ニモ競賣ヲスルトカ何トカ、持分ヲ處分スルト云フコトヲ認メナイト云フコトニナルノデスカ

レガ終了ヲ告ゲズニ解止スルト云フ、其時マデ中斷スルト云フ意味デハナイデセウカ

○池田政府委員 御趣意ト少シモ變リハアリマセヌ、破産ヲ止メル原因ハ、破産手續ヲ終テ終結決定スルコトモアリマス、協議契約——本法ニ依リマスルト、強制和議ニ依テ

破産終結ヲ決定スルコトモアリマス、破産廢止ノ決定ノア

ル場合モアリマス、破産廢止ノ決定セラレズニ終ル場合モ

アリマス、色々アリマスガ、ソレヲ一括シテ破産手續ノ解止ト云フコトニサレタ譯デアリマス、破産ガ行ハレテ居ル間ニモ、ドンク御進行下サッテ、速ニ御審議アランコトヲ希望致シマス

○前田委員長 成ベク皆サンノ御勉強ヲ願ツテ、一ツ早ク進行シタイト思ヒマス

○麓委員 七十一條ノ第二項ニ「破産財團ニ屬スル財産ニ關シ破産宣告ノ當時行政廳ニ繫屬スル事件アルトキハ其ノ手續ハ受繼又ハ破産手續ノ解止ニ至ル迄之ヲ中斷ス」トアリマスガ、受繼又ハ破産手續ノ解止ニ至ルマデ中斷スト云フ。其解止ト云フノハドウ云フ場合デスカ

○池田政府委員 是ハ破産手續ヲ完結スルト云フ場合ヲ總稱スルコトデアリマス

○麓委員 サウンシマスルト明治二十三年法律第六號ニ列記シテアル土地ノ上ニ、何十万圓ト云フ訴訟ガ起タヤウナ場合、其査定ニ關スル訴訟ガ起テ居ルト假定シマス、其場合ハ破産手續ノ終ルマデ中斷シテ置ケバ、破産財團トシテハ入レナイ積リデアリマスカ

○池田政府委員 「受繼又ハ破産手續ノ解止ニ至ル迄之ヲ中斷ス」トアリマス、此場合ニハ破産管財人ガ受繼ノ手續ヲスル譯デアリマス、破産管財人ガ御示ニナリマシタヤウナ事件ニ付キマシテハ、破産者ニ代ツテ其事件ヲ受繼キ、當事者トナツテ進行スルト云フコトニナリマス

○麓委員 モウ一ツ「又ハ破産手續解止ニ至ル迄之ヲ中斷ス」ト云フ此又「ト云フコトガ疑ノ有ル所デスガ……

○池田政府委員 受繼ノアルマテ止メテ置クノデ、破産ヲ止メテシマヘバ中斷スルコトハ無クナリ、御趣意ト達ハナイト思ヒマスガ、マダ

リマス、併ナガラ又御示ニナリマシタヤウナ破産ノ廢止ニ

破産ヲ始メテ見タケレドモ金ガ足リサウモナイ、費用ヲ

償フニ足リサウモナイト云フトキニ破産廢止ニナリマス、ソレモ解止ノ一ツニナリマス、ヤツテ見タ所ガ強制和議が成立ツテ、終結ノ決定ヲシタト云フノモアリマス、何レノ理由ヲ問ハズ破産ト云フモノガナクナレバ、ソレニ依ツテ中斷ト云フコトハ無クナル、御趣意ト達ハナイト思ヒマスガ、マダ御疑問ノ點ガアリマスカ

○麓委員 マダ諒解致シマセヌ、ソコデ私先刻例ヲ申上げニ關スル何十万圓ト云フ土地ニ付テノ争ガアル、ソレヲ管

財人ガ受繼スレバ宜シ、其受繼ヲスル又ハ破産ノ解止ニ至ルマデ配當スルト云フ場合マデ中斷スルナラバ、其財團ト云フモノニ、第二項ニ於テ入レナイデシマウコトガ出來ルト思フ、サウ云フ御考テスカ

○池田政府委員 斯ウ申上ガタラ宜カラウト思ヒマス、御示ノヤウナ例モサウデアリマスガ、行政廳ニ繫屬スル事件ハ、破産者ラシテ其當事者トシテ引繼イテ執行セシメル趣旨ノモノデハナイ破産者ノ管理處分ヲ失ハシムモノデ、

シマセヌトキハ、六十九條ノ規定ヲ準用シテ、對手方ニ受繼ヲ爲サシムルコトガ出來ルト云フコトデ、只今御示ニナリ

ス「ト云フノハ今ノ政府委員ノ御說ニ依ルト、麓君ノヤウナ疑問ガ起ルノデアリマス、是ハ破産ヲシテサウンテ終了

ヲ告ゲスニ、或ハ協議契約トカ何トカ、所謂破産ノ狀態デソ

怠る場合ニ於テハ、相手方——或ル 場合ニハ 政府ニナル力

知レマセヌガ、相手方ガ六十九條ノ規定ニ依リ受給ノ手續

ヲスル、其間ニ不當ニ手續ヲ延滞スルノ虞ハ無イ、斯ウ云フ

コトニナル譯デアリマス

○野村委員 サウスレバ配當シタ時ダケヲ抜イタ、他ノ場

合ノ解止ト致ス方ガヨササウニ思ヒマスガ、ドウデスカ、サ

ウスルト理窟ガ合ハウト思ヒマス、今ノ御話ノヤウデスト、

不當税金ト云フヤウナモノハソックリ残ルコトニナル、何十

万圓残ル、配當シテアトニ金ガ残テ居ル、又配當シナケレ

バナラヌ、斯ウ云フコトニナリマス

○池田政府委員 結局ソコマデ行クコトハナカラウト思ヒ

マスガ、詰リ此財團ニ關シテ行政訴訟ガ行ハレテ居ル場合

ニハ、破産ノ宣告ガアレバ直グ中斷スル、中斷スレバ管財人

ニ受繼ヲスル、其事件ノ完了如何ニ拘ラズ、破産ハ段々進行

シテ行キマス、而シテ破産ノ愈、完了シテ行クマデニ、其

事件ガ濟マスト云フコトニナリマシタナラバ、矢張其財團

ト云フモノハ行政訴訟ノ手續ト云フモノヲ完結致シマセ

ヌ、ソレハ完全ニ財團トシテ、配當ノ用ニ供スルコトガ出來

ナイト云フコトニナラウト思ヒマス、ソレハ矢張解決ヲ待ツ

テ其財產ヲ配當スルコトニナルデアラウ、今ノ麓サンノ御

示ノヤウニ多額ノ財產デアルナラバ、矢張解決ヲ待ツ、ソ

レ迄ハ終ラナイト云フコトニナルデアラウト思ヒマス、若

シ又極ク輕微ノモノデアレバ、ソレニ拘ラズ最終ノ配當ヲ

爲シマシテ、サウシテ財產ノ處分ヲスルト云フコトハ、此法

案ニ別ニ規定ヲ設ケテ居ルノデアリマス、其規定ニ依ツテソ

レ入レルマデニ、手續ハ致サナケレバナラヌ、或ハ取入レ

ルコトノ出來ナイコトニ訴訟ノ結果ナルカ知ラヌ、其結果

ヲ見ルマデハ、破産ヲ見ルコトガ出來ヌト思ヒマス

○野村委員 配當マデヤルナラバ、破産手續ノ終了ニ至ル

ニモ「破産ニ付テノ規定ニ從ヒ手續ヲ受繼キ又ハ破産手續

ヲ解止スルマテ之ヲ中斷ス」ト云フコトニナッテ居リマス

午後零時二十五分休憩

○前田委員長 午前二時六分開議

○前田委員長 午前二時六分開議

云フ此六章ヲ議題ト致シマスカラ、此章ニ付テ御尋ノ諸君

ハ御尋下サイ 「無シト呼フ者アリ」

○前田委員長 アリマセヌカ、第六章ガ無ケレバ、取戻權ト

題スル第七章ヲ議題ト致シマスカラ、御疑問ノアル方ハ御

質問ヲ願ヒマス

○岩崎委員 取戻權ノ第八十九條ニ付テ御尋致シマス「賣

主ガ賣買ノ目的タル物品ヲ買主ニ發送シタル場合ニ於テ買

主カ未タ代金ノ金額ヲ辨償セス」云々ト云フ規定ガアリマ

ス、是ハ代金ノ一部ヲ辨償シタト云フコトニナルト、取戻ガ

出来ナイト云フコトニナリマスカ

○池田政府委員 代金ノ全部ノ破産辨償ヲ受ケレバ、行使

ガ出來ナイコトニナリマスガ、全部ノ辨償ヲ受ケヌ間、即チ

云フコトデアリマス

○前田委員長 アリマセヌケレバ 第八章、別除權ト云フ此

章ニ移リマス

「無シト呼フ者アリ」

○前田委員長 私ガ一寸御尋致シマスガ、九十二條ノ別除

權ニ留置權ガ入ツテ居リマズガ、ドウ云フ譯デアリマスカ

○池田政府委員 留置權ニ付キマシテハ、第九十三條ノ規

程ニ依ツテ商法ノ規程ニ依リマスルモノハ之ヲ特別ノ先取

權ト見テ、即チ別除權ヲスルコトニ致シタノデアリマス、

其他ノ留置權即チ民法ノ規定ニ依リマスル留置權ハ、破產

法ノ手續ニ關シテハ、留置權ト見テ執行スル、斯ウ云フ趣旨

ニナツテ居リマス、商法ニ於キマスル留置權ト民法ニ於キマ

スル留置權トハ、其沿革ヨリ申シマシテモ全ク達タモノデ

アリマス、商法上ノ留置權ハ、商取引ノ關係カラ生ズル所ノ

特別ノ留置權デアリマスカラ、之ニ付キマシテハ別除權ヲ

認メマスガ、民法上ノ留置權ニ付キマシテハ、之ニ別除權ヲ

認メマスト徒ニ破産手續ヲ遷延セシメルコトニナリマスカ

ラ、此種ノ留置權ニ付キマシテハ、破産手續ヲ進行セシムル

方法ヲ採リマシタノデアリマス

「有リマス」ト呼フ者アリ」

○前田委員長 御尋ガゴザイマセヌケレバ 第九章相殺權ト

云フ章ニ移リマス

○渡邊委員 相殺權ニ場合ニ於テ、破產債權者ト破產者ト

ノ債權債務ノ相殺ハ、破產手續ニ依ラズシテ相殺カ出來ル

ト云フコトデアリマスガ、是ハドウ云フ譯デアリマスカ

○池田政府委員 是ハ破產手續ニ依ラナケレバナラヌコトニ

イノデアリマスカ

○渡邊委員 只今相殺ニ付テハ時期ガ一制限ガ無イト云

フ御答辯デアリマスガ、併ナガラ債權届出ヲ爲ス迄ニヤラ

ナケレバ手續上不都合ト思ヒマスガ、債權届出ノ後デモ有効デアリマスカ

○池田政府委員 只今ノ御尋ノ趣旨ハ、破產債權者ガ債權

ノ届出ヲ破產手續上爲シタ後デモ、其相殺ガ出來ルカト云

フコトデアリマスカ

○渡邊委員 自分ノ債權ノ届出ヲ爲シタ後デモ宜イノデア

リマスカ

○池田政府委員 只今ノ御尋ノ御趣旨ハ、債權ノ届ヲシタ

アトデモ、尙ホ相殺ヲ爲スコトヲ得ルヤト云フコトニヤウ

ニ承リマシタガ、是ハ差支ナインデアリマス

○岩崎委員 私ノ考デハ破產管財人ノ手數ヲ濫リニ複雜ナ

ラシメルコトニナリマスカラ、相當ノ期間デ定メテ、其期間

内ニ相殺ノ意思表示ヲスルノハ宜イケレドモ、其後ハ出來

ヌヤウニシタラ便利グラウト思ヒマスガ、如何デアリマスカ

○池田政府委員 只今渡邊サンノ御質問モアリマシタガ、

相殺ヲ爲サムトスル場合ニハ、必ヤ別ニ破產手續ニ依ル必

要ガナイカラ、其届出ナクシテ相殺ヲスルノデアラウト思

ヒマスケレドモ、法律ノ規定トシテハ、届出ヲシタル以上ハ

相殺ヲ止メルト云フコトニナッテ居リマセヌノデ、又只今岩

崎サンノ御尋ニナリマシタ點ハ、別ニ時期ヲ定メマセヌデ

モ、左シタル不都合ハナカラウト心得マシテ、此案デハ定メ

テ居ナイ次第アリマス

○前田委員長 御尋ガゴザイマセヌケレバ 第一編ハ終リト

致シマシテ、是カラ第二編手續規定ノ中ノ第一章總則ト云

スノヲ議題ニ致シマス、御疑問ノアル方ハ御質疑ヲ願ヒマ

ス

○岩崎委員 此第九十九條ノ場合ノ相殺ニ付テノ制限ハナ

イノデアリマスカ

○池田政府委員 其時期ニ付キマシテハ別ニ制限ハアリマ

セヌ

○麓委員 サウスルト破産法ノ原則規定ハ、總て民法ノ規定ニ依ルコト承知シテ宜ノデスカ

○池田政府委員 大體左様ニ申上ゲテ差支ナイト思ヒマス

○渡邊委員 第百十三條ニ依ルト、破産宣告ノ場合ハ直ニ效力ヲ生ズルガ、破産宣告ニ非ザル抗告裁判所ノ決定ハ確定後ニ非ザレバ效力ヲ生ジナイト云フ規定ヲ置イタノハ、此破産ハ宣告デ直ニ效力ヲ生ズルコトヲ原則トスルカラ、此規定ヲ置カヌノデアリマスカ

○池田政府委員 大體左様デアリマスガ、此百十三條ハ破産裁判所ニ於テ、即チ第一審ノ手續ニ於テ破産ノ宣告ヲ致シタル假定スル、ソレヲ抗告裁判所ガ之ニ反對ノ裁判ヲシテ取消ストスルト、之ヲ直ニ效力ヲ生ズルコトニスレバ、一審ノ裁判ノ宣告ニ依テ、直ニ破産手續ガ實行ニ著手シテ居タモノヲ止メナケレバナラヌコトニナリマス、其止メタ後ニ抗告裁判所ノ裁決ニ對シテ更ニ抗告ガアッテ、ソコデ以テ破産宣告ハ爲スペキモノデアルト云フ、裁判ガアッタト想像スルト、抗告裁判所ガ破産ヲ宣告スペキモノデナニ拘ラズ、其宣告ヲ實行シタルコトガ如何ニモ手續上無用デアルノミナラズ、不都合ノ結果ヲ生ズル譯デアリマスカラ、確定ノ後ニ非ザレバ效力ヲ生ゼズ、ト規定シタノデアリマス、所ガ抗告裁判所ガ破産宣告ヲスル場合ヲ考へマスルト、一審デアリマス、其場合ハ第一ノ原則ガ動ク場合デアリマスカラ、直ニ效力ヲ生ゼシメテ差支ナイ、斯ウ云フ趣意デアリマスカ

○前田委員長 他ニ御尋ガ無ケレバ第二章破産宣告ニ移リマス

○岩崎委員 第百二十七條ノ規定ハドウ云フ理由デ置カレタノデアリマスカ

○池田政府委員 此法人ニ對シテハ此等ノ合名會社合資會社ノ存立中ハ、其財產ヲ以テ債務ヲ完済スル能ハザル理由以テ、破産宣告ヲシナインデアリマスガ、其他ノ法人ニ付テハ、今ノ理由ヲ以テ破産宣告ヲ爲スコトニナツテ居リマス、合名會社合資會社ハ、寧ロ社員ノ對人的信用ニ依ッテ事業ヲ經營スルコトガ出來ルモノデアリマスカラ、恰モ個人ノ場合ト同ジク、百二十六條ノ一項ノ原因ガ無ケレバ破産宣告ヲシナインケレドモ、其他ノ法人ハ一種ノ財團デ、財產ニ依テ信用ヲ繋イデ居ルノデアリマスカラ、其財產ヲ以テ債務ノ完済ガ出來ナイ場合ニハ宣告ヲ爲スノガ至當デアル、斯ウ云フ趣意デ、百二十七條ノ一項ハ設ケラレタ次第デアリマス

○岩崎委員 第百二十七條ノ第一項ハ支拂ノ停止ガナク、

テモ、破産宣告ノ原因ニナルト云フ事ニナルノデスカ

○池田政府委員 左様デゴザイマス、債務ガ超過スルト云フダケデ以テ、破産ノ原因ニナルノデアリマス、勿論百二十條ノ原因ガアリマスレバ、破産宣告ヲスルト云フコトハ當然ナ事デアル、之ガ無クテモ宜シイ、斯ウ云フ意味デス

○麓委員 百三十五條ニ付テ伺ヒマス、極端ナ例ヲ申上ゲルヤウデスガ此以外ノ法人ニ之ヲ準用ス」トアリマスガ、國家ダトカ縣トカ、市町村トカヲ此以外ノ法人ト云フ文字ニ包含スル譯ニナリマスカ

○池田政府委員 只今御示ノ國家、府縣、市町村ノヤウナ所謂公法人ニ付キマシテハ、破産ト云フコトハ其性質上無イモノトスウ云フ考デアリマス

○麓委員 ソレデハ商業會議所トカ、同業組合モ矢張包含シマセヌカ

○池田政府委員 個々ノ法人ニ付テ果シテ公法人デアルカ否ヤト云フ事ニ付テハ、大分問題ニナル會社ガアラウト思ヒマス、苟モ公法人ト云フコトニナリマシタナラバ、破産ハ其適用ガ無イト云フコトニ解スルノガ通説デアルト思ヒマス

ス只今御舉ニナツタ中テ、同業組合ハ公法人デナイト云フコトニ解釋サレテ居ルカト思ヒマス、商業會議所ハ如何ナリマスカ、或ハ公法人ト云フコトニナツテ居ルカモ知レマセヌガ、若シサウデアレバ、今ノ一般ノ理論ヲ採リマス以上ハ、矢張破産ノ適用ガ無イコトニナルト思ヒマス、併シソレハ果シテ公法人ナリヤ否ヤト云フ問題ニ繋ガッテ居ルコトト思ヒマス

○岩崎委員 私ハ第百二十七條ニ續イテ御尋致シタイノデアリマス、百二十六條ノ破産ニ關係シテノ支拂停止ヲ爲シタルトキ云々ト云フコトガ中々多イノデアリマスガ、此法文ヲソレニ適用シテ行クニハドウ云フ風ニ見レバ宜ノデスカ、詰リ「バランス」ノ上ニ於テ債務ヲ完了スルコトガ出来ナイ場合ガ、支拂停止ト同ジ状態ニ當嵌ツテ行クノデアタルカ、或ハ破産宣告ト云フコトガ支拂停止ト同ジヤウナ状態ニ當嵌マルノカ、適用ハドウ云フコトニナリマスカ

○池田政府委員 只今ノ御質問ノ場合ハ寧ロ破産ノ申立てタルカ、或ハ破産宣告ト云フコトガ支拂停止ト同ジヤウナ状態ニナルコトカト思ヒマス、現實支拂ノ停止ガアリマスカ、如何デアリマスカ、破産者ノ爲シタル支拂停止ガ、同一支拂停止ヲ外國ニ於テモ日本ニ於テモ原因トスル場合ニ於テ申立ルコトハ出來ナイト思ヒマス

○岩崎委員 百三十七條ニ「破産申立ノ當時既ニ外國ニ於テ破産ノ宣告アリタルトキハ破産申立人ハ破産ノ原因タル事實ヲ疏明スルコトヲ要ス」ト云フ規定ガアリマスガ、是ハ破産原因ノ同一事實タルコトヲ前提トシテ居ル條文デアリマスカ、如何デアリマスカ、破産者ノ爲シタル支拂停止ガ、同一支拂停止ヲ外國ニ於テモ日本ニ於テモ原因トスル場合ヲ前提トシテ規定シタルモノカ、ドウカト云フコトヲ承リタ

○池田政府委員 外國ニ於テ爲シタル破産ノ宣告ト云フモノハ、内地ニハ效力ハ無イト云フコトニナツテ居リマス、即チ破産ニ付キマシテハ、嚴格ナ屬地主義ヲ採ツテ居ル次第デアリマスカラ、ソレデ内地ニ於ケル破産ノ申立ヲ致シマスルニ付テハ、即チ内地ニ於テ破産原因タル事項ガナケレバナラヌ、其事項ガ必シモ外國ニ於テ起ツテ居リマスルモノト同様デアルト云フコトハ、必要デハナインデアリマス、唯タ破産者ハ即チ一人デアリマスカラ、既ニ其人ガ外國ニ於テ破産状態ニ陥ツテ居ル事情ガアル以上ハ、先づ一概内地ニ於テ破産ノ申立ガ起ツタ場合ニモ、是ハ謂レノナイ申立デハナイト云フコトニ見エマシテ且結果特ニ破産ノ原因ルタ事實ヲ疏明シナクテモ申立ガ出來ル、斯ウ云フ事ヲ規定シタルニ過ギナインデアリマス

○渡邊委員 債權者ガ破産ヲ申立テタ場合ニ於テ、破産手續ノ費用ヲ豫納スベキ規定ガ百三十九條ニアリマス、所ガ破産申立人ガ債權者デナイ場合ニ於テハ、手續ノ費用ト云フモノハ假ニ國庫カラ支拂シテ置ク、サウシテ後日破産財

國ヨリシテ返附ヲ受ケルト云フコトニナツテ居リマスガ、サ

○渡邊委員 百三十八條ノ破産申立人ガ債權者デナイ場合、即チ債務者ノ場合、若クハ債務者ニ非ザル場合、例ヘバ債務者ハ無論デアリマスガ、債權者、債務者ノ外ニ債權ニ非サルト云フ文字ノ中ニハ、會社ノ株主等モ包含サレル御趣旨デアリマセウカ、何所迄ノ範圍ニナツテ居マスカ、御尋ネ致シマス

○池田政府委員 破産ノ申立ヲ爲シ得ル者ハ誰デアルカト云フコトハ段々規定ガアルノデアリマシテ、大體ハ債權者又ハ債務者ト云フコトニナツテ居リマス、ソレカラ法人ノ場合ニ於テハ其法人ノ代表者、破産ノ場合ニ於テハ清算人ト云フコトニナツテ居リマス、ソレカラ相續財產ニ付テハ債權者ノ外ニ是々ノ者ガ破産ノ申立ヲスルコトヲ得ト云フコトニナツテ居リマス、此ニ「債權者ニ非サルトキ」ト云フコトヲ掲ゲラマシタノハ、只今申上ゲマシタヤウナ色々ノモノ、中デ、債權者ニ非ザル者ガ破産ノ申立ヲスルト云フコトニナツテ居リマス

七

○池田政府委員 債權者ガ破産申立ヲ爲ス場合ニハ、豫納ガナクテハナラヌ、佔權者ニ非ザル者ガ申立テマシクトキニ豫納ハ必要デハナイ。斯ウ云フコトニナツテ居リマス。

○波邊委員 其區別ヲ設ケマシタ理由ハ何所ニアリマスカ。○池田政府委員 債權者ガ破産ノ申立ヲスル場合ニ、破産手續費用ヲ豫納スルコトハ、一體破産其物ガ債權者一般ノ利益ノ爲ニ致シマス所ノ、謂ハ、總括的ノ強制執行デアル、斯ウ云フ見地カラシマシテ其費用ヲ豫納セシムル、斯ウ云フ譯デアリマス、債權者ガ自己及一般ノ債權者ノ爲ニ執行ノ請求ヲスル、ソレガ爲ニ入費ヲ豫納スルト云フコトハ、民事訴訟法ノ五百七十一條、七百二十一條等ニモノレト同ジ趣旨ノ規定ガアリマス、其等ノモノト同種類ノモノト思ヒマス。

○前田委員長 第三章、破産管財人ト云フ章ニ移リマス。

○岩崎委員 百六十條ノ規定ヲ見マスト、第二項ニ於テ「破産管財人ガ其ノ任務ヲ辭セムトスルトキハ裁判所ニ申立ヲ爲スコトヲ要ス」ト云フ規定ニナツテ居リマス、是ハドウ云フ譯デス。

○池田政府委員 破産管財人ハ、裁判所ノ選任ニ依ルノデアリマス、一旦選任セラレマシタ以上ハ、正當ノ事由ガナケレバ任務ヲ辭スルコトハ出來ナイト云フノガ、百六十條ノ規定ニナツテ居ル、其正當ノ事由アリヤ否ヤト云フコトハ、矢張選任致シマシタ所ノ裁判所ガ、之ヲ判定スル必要ガアルノデアリマス、裁判所ニ其旨ヲ申出ル、裁判所ガ是ハ正當ノ理由ガアルト云フコトヲ認メマシタ場合ニ辭任ヲ許ス、斯ウ云フコトニ相成ルカト思ヒマス、唯ダ申立タグケニ依テ辭任ニナルト云フコトニハナルマイト思ヒマス。

○岩崎委員 今日ノ實例ニ於キマシテハ、斯ウ云フ話ガアル、管財人ノ辭任申立ニ對シテ、裁判所ガ決定其他意志表示ヲシナイデ、後任管財人ノ決定ヲスルト同時ニ、一方ノ管財人ヲ止メルノデアリマスガ、ソレマデノ間申立ヲ爲シタ否トニ拘ラズ、管財人ノ職責ヲ持タナケレバナラヌト云フコトニナルノデスカ。

○池田政府委員 只今御示ノヤウナ結果ニナラウト思ヒマス。

○鶴委員 百六十三條ハ、管財人數人アルトキハ共同シテ其ノ職務ヲ行フ、第一項デ「第三者ノ意思表示ハ其ノ一人ニ對シテ之ヲ爲スヲ以テ足ル」トナツテ居リマスガ、此管財人ノ意見ガ各々違タトキノ方法ハ、何等規定ガ無イヤウニアリマスガ、何所カニ規定ガアリマスカ。三人居ラバ、三人共違フトカ、二人ハ一致シテ一人ガ一致セヌト云フ場合ニハ、職

務ノ執行方法ハドウ云フコトニナリマスカ。

○池田政府委員 管財人ガ數人アリマシタ場合ニハ、其職務ハ特ニ裁判所ノ許可ヲ得マシテ、之ヲ分掌スルト云フコトニナリマス場合ノ外ハ、共同ヲシテ行フト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、即チ數人ガ一致ヲ致シマシテ、其行為ヲ爲スコトニナツテ居リマス、第三者ノ方ヨリ致シマスル意思表示ニ付キマシテハ、第二項ニ關聯ノ規定ガアリマスガ、破産管財人ガ之ヲ行フト云フ場合ニ於キマシテ、管財人側ニ於キマシテハ、矢張リ共同シテ之ヲヤラナケレバナラヌト云フコトニナツテ居リマス、其結果管財人ノ意見ガ纏ラナイト云フコトガアリマスレバ、即チサウ云フ事柄ハ實行シテハ相成ラヌ、即チ全員ガ一致シタ場合ニ於テ其職務ヲ實行スル、斯ウ云フコトニナラウト思ヒマス。

○岩崎委員 私ハ此破産管財人ノ責任ノ事ニ付テ御尋ヲ致シタイノデスガ、第百六十四條ノ第二項ニ「破産管財人ガ前項ノ注意ヲ怠リタルトキハ、其破産管財人ハ利害關係人ニ對シ連帶ノ損害賠償ノ責任ガアルヤウニ規定サレテアル、此規定ハ絶對規定デアル、破産管財人ノ事務分掌ヲ裁判所ニ於テ認可シタ場合ニ於テモ、尙ホ其責任ハ連帶デアルノデアリマセウカ。

○池田政府委員 第百六十四條第二項ニ付テノ御尋デアリマス、即チ管財人ハ前項ノ善良ナル注意ヲ以テ職務ヲ行ハケレバナラヌ、其注意ヲ怠ッタ場合、其賠償ノ責任ガアルト云フコトニナツテ居リマス、其注意ヲ怠リマシタ管財人ガ責任ヲ負フ、斯ウ云フコトニナルノデアリマスカラ、其注意ヲ怠ラザリシ管財人ヲモ、亦併セテ此連帶責任ニナルト云フ趣旨デハナインデアリマス、思召ノ例ノ場合ニ於キマシテ、ソルく分掌ニナツテ居レバ、他ノ管財人ノ分掌ニ屬スルコトニ付テ、此方ハ事務處理ノ責任ガ無イ場合ニ付テ考ヘマスルト、其自分ノ分掌ニ係ル事務ニ付テ即チ其事務ヲ怠ッタ、其一人ノ管財人タケガ責任ヲ負フ、他ノ二人ハ之ニ對シテ責任ヲ負ハナイ、之ニ反シテ二人ノ受持ニナツテ居ル以上ハ、其怠リタル者ガ數人居ルト云フコトハ是ハ勿論ノ事デアリマス、デアリマスルカラ、例ヘバ三人破産管財人ガ居リマシテ、中一人ニ對シテ或ル部分ノ分掌事務ヲ定メテ、殘リノ者ハ跡ノ部分ノ事務ヲ二人ノ管財人ガヤル、斯ウ云フコトニナツテ居リマスル場合ヲ考ヘマスルト、一人ノ破産管財人ガ自分ノ分掌事務ニ付テ善良ナル管理者ノ注意ヲ怠リタルト云フコトニナリマスカ。

○池田政府委員 重不テ一應御説明申上ゲマス、即チ第二項ハ其文字ノ示シテ居リマスル通りニ、破産管財人ガ前項ノ規定、即チ善良ナル管理者ノ注意ヲ以テ其ノ職務ヲ行フ、此規定ハ絶對規定デアルト云フコトハ是ハ勿論ノ事デアリマス、デアリマスルカラ、例ヘバ三人破産管財人ガ居リマシテ、中一人ニ對シテ或ル部分ノ分掌事務ヲ定メテ、殘リノ者ハ跡ノ部分ノ事務ヲ二人ノ管財人ガヤル、斯ウ云フコトニナツテ居リマスル場合ヲ考ヘマスルト、一人ノ破産管財人ガ自分ノ分掌事務ニ付テ善良ナル管理者ノ注意ヲ怠リタルト云フコトニナリマスカ。

○岩崎委員 私ハ其點ニ付テ政府委員ト解釋上ノ事デアリマスケレドモ、非常ニ所見ヲ異ニシテ居ル、百六十條ノ第一項ニハ既ニ「善良ナル管理」者ノ注意ヲ以テ其ノ職務ヲ行フコトヲ要ス」ト云フ規定ガアル以上ハ、此注意ヲ缺イタル場合ニ付テ、此連帶責任ト云フコトニナリマス。

○池田政府委員 共同事務ノ執行ト云フコトニナリマスカラ、多クノ場合ニ於キマシテハ連帶ニナルカト思ヘマスモノニ付テ二人ノ人ガ共同シテヤルベキコトニナツテ居リマス、是ガ其事務ノ執行上注意ヲ怠ッタ、斯ウ云フ場合ニ於テ二人ノ者ガ責任ヲ負フ、而シテ此責任ト云フモノノハ、其二人ノ者ガ責任ヲ負フ、而シテ此責任ト云フモノハ、連帶デアルト云フコトヲ茲ニ規定シマシタ次第デアリマス。

○岩崎委員 サウスルト事務ノ分掌ヲ爲サナイ場合ニ於テハ、大體ニ於テ連帶責任ト云フコトニナリマスカ。

○池田政府委員 共同事務ノ執行ト云フコトニナリマスカラ、多クノ場合ニ於キマシテハ連帶ニナルカト思ヘマスガ、併ナガラ理論上カラ申シマスレバ、必シモ全體ガ職務ヲ怠リタルト云フ事實ガ生ズルトハ限ルマイト思ヒマヌ。

○岩崎委員 サウスルト其怠リタカ否ヤト云フコトハ、事實問題トシテ怠リタカ否ミ連帶シテ責任ヲ帶ビルト云フ精神ノ法律デスネ。

○池田政府委員 正シク其ノ通リデアリマス。

○岩崎委員 ソレカラ序ニ御尋致シマス、矢張管理人ノ責任ニ付テデアリマス、第百六十五條ノ規定ニ依ルト「臨時故障アル場合ニ於テ其ノ職務ヲ行ハシムル為、自己ノ責任ヲアル考ヘタナラバ、第二項ハ不需要デアル、既ニ善良ナル管理者ノ注意ヲ要求シテ居ル以上ハ、此注意ヲ缺イタル責任ヲ負ハ裁判所ノ認可ヲ得ルコトヲ要ス」云々ト云フ規定ニナツ



管轄問題等ニ付キマシテモ、移送シテソレヲ裁判所デ轄束  
スルトカ、或ハ其裁判所ガ餘所ノ裁判所ガ確定シタト云フ  
カマシイ形式の規定ハ、入レナカッタ次第デアリマシテ、  
コトヲ、移送ヲ受ケタ裁判所ニ繫屬スルトカ云フヤウナ、ヤ  
多分其邊ノ趣意ヲ考慮サレタノデハナカラウカト思ヒマ  
ス、破産手續ニナリマスレバ、元々調停和解ト云フモノヲ爲  
サシムルト云フコトヲ主眼ト致シマスル所ノ手續、其手續  
ノ管轄裁判所ト云フモノヲ定メル場合トハ、自ラ趣ガ變テ  
居ルコト、思ヒマスニ二百十七條ニ於キマシテハ管轄ノ規  
定ヲ明確ナラシムル爲ニ、第三項ノ規定ヲ置イタノデアリ  
マス、民事訴訟法等ニ付キマシテモ、ソレノ共事柄ノ性質  
ニ從ツテ者慮セラレルコト、考ヘマス

○前田委員長　此章ニ御質問ハゴザイマセヌカ、次ノ第七  
章破産債權ノ届出及調査ニ移リマス

○作間委員　午前中ハ已ムヲ得マセヌガ、午後ハ私ハ自分  
勝手デサボッテ居ツタ譯デナイ、刑事訴訟法ノ委員會ニ出席  
シテ居ツタノデアリマスカラ、第六章以下ニ付テ、概括的ニ質  
問ヲ此際御許シ下サル譯ニ參リマスマイカ而シテ若シ前ニ  
ドナタカ御質問ニナッテ御答辯ガ出來テ居ル所ハ、委員長カラ  
御注意下サレバ、速記錄ニ依テ拜見シマスガ如何デスカ  
○前田委員長　ドウデセウカ、今此所マデ進ンデ居ルノデ  
スガ、又後ニ戻ッテ質問ヲ許スコトニナルト、又他ノ者が出  
来マシテ聽クト云フコトニナリマシテ、折角逐條的ニヤッ  
テ居ル事方無効ニナリマスカラ、之ヲ進メテ行キマシテ、ア  
ナタノ分ダケハ留保シテ置イテ、後デ御質問ニナッタラドウ  
デセウ

○作間委員　ソレデハ終リニ別ノ機會ニ於テ御許ヲ願ヒマ  
○前田委員長　第七章ニ付テハ御質問アリマセヌカ——無  
ケレバ第八章配當ト云フ章ニ移リマス

○作間委員　第二百六十三條ニ付テ、破産債權者ガ自己ノ  
債權ヲ放棄致シマスコトガ往々アルノデアリマス、詰リ配  
當表ガ出来マシタ後ニ、餘リニ少額デ取ルコトガ面倒デア  
リマスカラ、モウ取ラヌデ諦メテシマウ、或ハ債務者ニ好意  
ヲ表スル意味ニ於テ自分ハ請求シナイ、斯ウ云フヤウナ場  
合ガアリマシタトキニ、一々配當表ヲ更正セラレルト云フ  
コトニナルノデセウカ、或ハサウ云フ場合ニハ配當表ヲ更  
正セズシテ、其債權者ニ配當スベキ金額ヲ、便宜次回ノ配當  
ニ繰入レルト云フヤウナコトハ出來ナイノデアリマセウカ  
○山内政府委員　丁度御尋ノ通りニナルコト、考ヘテ居リ  
マス

○作間委員　ドノ規定ニナリマスカ  
○山内政府委員　別段規定ハアリマセヌケレドモ併ナガ

期ニ於テ破産財團ノ中ニ加フルト云フコトハ、明文ヲ待タズシテ當然ノ事ト私ハ考ヘル  
○作間委員 若シ明文ガゴザイマセヌト「債權表ヲ更正スヘキ事由」ト云フ中ニ入りハシナイデセウカ、ソレカラ更ニ第三號ニ其權利拋棄ノ意志ヲ表示 スルトキニハ、破産管財人ハ直ニ配當表ヲ更正スルト云フ規定ニ依フテ、更正シナケレバナラヌノデアリマセヌカ、私ノ御尋ハ此場合ニ便宜更正セズシテ済マスト云フコトニ致シタラ、ドウカト云フノデアリマス

○三宅政府委員 二百六十三條ノ第一號ハ「債權表ヲ更正スペキ事由カ除斥期間内ニ生シタトキ」、即チ「二百六十一條ノ除外期間内ニ於テ其更正スペキ事由ヲ申立テナケレバ、其事由ハ成立タナイト云フヤウナ場合デアルノデアリマスガ、今御話ノ放棄ノヤウナ場合ハ、必シモ除斥期間内ニ申立てナケレバナラヌト云フノデアリマセヌ、元來第一號ノ中ニ入ルベキモノノデナカラウト存ジテ居リマス

○作間委員 除斥期間内ニ放棄シタ場合ハ、ドウナリマスカ、即チ配當ノ公告アリタル日ヨリ起算シテ、二週間内ト云フノデスカ

○三宅政府委員 元來除斥期間内ニ除斥權者ガ債權表ヲ更正スペキ事由、斯ウ云フ風ニ御取リニナレバ、私ノ今申上ゲタヤウナ事由ト云フモノハ、除斥期間内ニ生ジタカラ、ドウ云フ效力ガ有ルトカ無イトカト云フモノノデハアリマセヌノデ、此「債權表ヲ更正スペキ事由」ト云フコトニハ入ラナイト云フ御解釋ニ願ヒタイト思ヒマス

○作間委員 ソレデハ債權ノ拋棄ハ、配當表ヲ更正スペキ事由ノ、第二百六十三條ノ第一項ノ此事由ノ中ニ包含シナイト解釋シテ宜シウガザイマスカ

○山内政府委員 其點ニ付テハ暫ク御猶豫ヲ願ヒタイト思ヒマス、此次マデニ調ベマシテ御答ヲ致シタイト思ヒマス○作間委員 分リマシタ、ソレカラ債權者ガ確定致シテ居リマシテ、サウシテ配當ヲ致シマセウニモ、而シテ配當ヲ致ス爲ニ通知ヲ發シテモ居所ハ不明デアル、サウ云フ場合ニハドウ云フヤウナ御取扱ニナリマセウカ、之ヲ二百七十八條ニ牽聯シテ御尋致シタイト思フノデスガ——尙ホ申上ゲマス、此法案ガ可決ニナッテ施行セラレマシタ暎ハ率知ラズ、從來ノ例ニ依リマスト、破産手續ハ隨分長イ手間ガ掛リマス、諸君モ御承知ノ通り二年三年、長キハ五六六年ニモ及ブ場合ガアルノデ、其間ニハ債權者ノ中デ轉帳シテ、行衛ガ分ラナクナルヤウナコトガ多イノデゴザイマス、殊ニ債權ニ

○三宅政府委員 第二百八十條、是ハ債権者ガ受取  
ラナイ、即チ居所ハ分明シテ居リ、通知モ届イテ居ル、併ナ  
ガラ受取ルコトヲ拒ミ、若クハ受取ルコトヲ欲セザル場合  
ヲ主トシテ、豫想サレテ、居所不明ノ爲ニ、裁判所カラ受取  
ラシメル手續ノ出來ナイ場合ハ、此第三號ニ直ニ當嵌ラナ  
イヤウニ思ヘレマスガ、如何デゴザイマスカ

○三宅政府委員 矢張其場合モ二百八十條第三號ニ當ルモ  
ノト考ヘテ居リマス

○作間委員 私共ハ此場合ニハ、破産管財人カラ先ヅ數次  
ノ催促或ハ公告ヲ以テ——催促ト云々テモ催促ハ發セラレ  
ナイデスガ、公告等ラシテ、住所居所ノ届出ノ公告ヲ重ネテ  
見テモ、ソレデモ尙ホ住所居所ノ届出ガナイト云フ場合ニ  
ハ、是ハ供託スルヨリモ、寧ロ他ノ確定シタル債権者ニ配當  
シテ結果ヲ付ケタ方ガ、實際ノ便宜上取扱カラ申シマスレ  
バ其方ガ宜シカラウト思ヒマスシ、又サウシテモ不都合ハ  
生ジナカラウト思フノデアリマスガ、飽迄供託シテ住所ノ  
分ラヌ債権者ノ金ヲ、永久ニ其儘ニシテ置カレルト云フ思  
召デアリマセウカ

○三宅政府委員 民法ノ供託ト云フノト矢張同シヤウナ風  
ニ、供託ニ依ッテ其債務ヲ免レシムルト云フコトニナッテ居  
リマス、二百八十條モ同ジ趣旨デアリマスノデ、今御話ノヤ  
ウナ債権者ガ分ラナイカラト云々テ其債権ガ無イ譯デハナ  
イ以上、其債権者ニ配當スベキ分ヲ他ノ債権者ノ配當ニ充  
ツルト云フコトハ、不穩當ナ事デアラウト有ジマス

○作間委員 其點ハソレ以上ハ御意見ト相違致スノデアリ  
マスカラ此程度ニ止メマシテ、二百八十八條ニ付テ御尋致  
シマス、二百八十八條ハ、破産者ガ天災其他避クベカラザル  
事變ノ爲、債權調査ノ期日ニ出頭スルコトノ出來ナカッタ  
キハ、破産裁判所ニ原狀回復ノ申立ノ出來ル規定デアリマ  
スガ、是ハ破産者バカリ分明ニセラレテ、一方ノ破産債権者  
ノ方ガ此中ニ含マレテ居ナイヤウデアリマスガ、ソレハ破  
産債権者ハ、斯ウ云フ場合ニ原狀回復ノ申立ヲ爲サシメナ  
イ、サセルニハ及バナイト云フ御趣旨デアリマスカ、或ハ破  
産債権者ハ別ノ規定デ權利ヲ認メラレテ居ルノデアリマセ  
ウカ、之ヲ伺テ置キマス

○池田政府委員 二百八十八條ニ於キマシテ、破産者ニ原

狀回復ノ申立ヲ許スト云フノハ、二百八十七條ニ於キマシテ、確定債權ニ付キマシテ、債權調査ノ期日ニ破産者ガ其債權ニ付テ異議ヲ申述ベナカッタキニハ、其破産者ニ對シテ債權表ニ確定判決ト同一ノ效力ヲ有スルコトニナル、即チ

破産終結ノ後ニ於キマシテハ、債權表ハ記載ニ從ツテ強制執行ヲ爲スコトヲ得ト云フコトニナルノデアリマスルカラ、此結果ヲ避ケシムル爲ニ、異議ヲ述ベナカッタコトガ、天災其他避クベカラザル事由ノ爲デアッタ云フコトデ、此途ヲ開クノガ至當デアラウト云フコトカラ、特ニ破産者ニ對シテ此規定ヲ置カレタ次第アリマス

○作間委員 サウ致シマスルト、破産債權者ノ方ハ同様ノ理由ニ依ツテ期日ニ出頭スルコトガ出來ナカッタ場合ニハ、ドウ云フヤウナ御取扱ニナリマスカ

○池田政府委員 詰リ債權調査ノ期日ト云フコトニナルノデアリマス、其場合ニ債權者ガ出頭スルコトガ出來ナイト云フコトガアリマシテモ、別段此法律ニ依ツテ特ニ事故モ起

○山内政府委員 斯ウ云フ意味ナンデス、債權調査會ニ於ケル債權調査是ハ皆ナノ債權者ガ異議ヲ言ハナケレバ確定スルケレドモ、此確定ハ破産者ヲ禍束シナイト云フノガ本則ニナッテ居リマス、ソコデ、債權調査ノ期日ニハ、破産管財人ト云フ者ガ先づ第一ニ總テノ債權調査ナシテ、異議アル者ハ異議ヲ言フ、其他ノ者モ異議ヲ言フモナ、要スル

モ異議ヲ言ヘバ是ガ不確定ニナル、而シテニ付テ破産者ガ假令異議ヲ言ツテモ、其債權ハ確定債權ニナル、併ナガラ破産者ガ異議ヲ言ヘバ、破産者ニ對シテハ、此確定判決ト同一ノ効力ヲ生ズル、併ナガラ配當ノ關係ニ於テハ、結局是ハ確定債權ト云フコトニナルノデアリマス、サウ云フ次第

アリマスカラ、多クノ債權者ガ皆ナ差支ナク出テサウンテ定メルト云フコトニナリマスト、是ハ非常ニ長引クシ、破産管財人ガ全體ヲ管財シ又異議ヲ言フ機会ガアルノダカラ、ソレデ異議ヲ言ハナカッタナラバ、ソレデ確定スルコトニナル、唯々破産者ガ第三者ニ對シテ異議ヲ言フ、此場合ニ現状回復ノ規定ヲ置クノガ宜カラウト云フノデ、破産者ニ對シテ此規定ヲ置イタノデ、是ハ詰リ破産手續、外ノ事デ破産手續内ノ事ハ、成ベク迅速ニ致シタイト云フノガ此案ノ趣意デアリマス

○作間委員 破産者ガ異議ヲ述ベナカッタ場合ハ、其債權表ノ記載ハ破産者ニ對シ確定判決ト同一ノ效力ヲ有スト云フ規定ハ第二百八十七條ニアリマスカラ、ソレデ其場合ノ救濟方法トシテ「二百八十八條ガ生レタト云フ御趣意ノ説明ハ只今山内サン及池田サンノ御説明デ分リマシタガ、一體破産債權者ガ債權調査ノ期日ニ出頭シナカッタ云フ爲ニ、

異議ヲ述ベナカッタ云フ場合ニ、後ニ矢張異議ヲ述ベラレマセウカ

○山内政府委員 ソレハ述ベシメナイ積リデアリマス、既ニ債權者ガ多數寄テ異議ヲ言フコトニナッテ、モウ一過債權調査會ヲ開クト云フコトニナッテハ際限ガアリマセヌカラ、是ハ是デ打切ルコトニナッテ居リマス

○作間委員 ソレデ此破産者ニ對シテ確定判決ト同一ノ効力ヲ有スルト云フコトニ重キヲ置カレテアル譯デアリマスカ

○山内政府委員 此債權者間ノ異議ト云フモノハ、要スルニ配當關係ニ止マルノデス、併ナガラ其結果債權表ノ記載ハ、矢張第二百四十二條ニ依リマスト、破産債務者ノ全員ニ對シテ確定判決ト同一ノ効力ヲ有スル、是ハ要スルニ配當ノ上ノ問題デアリマス、之ニ對シテ破産者ノ確定判決ノ効力ト云フノハ、丁度是ト同ジ關係ニ於テ、矢張確定判決ト同一ノ効力ヲ同一ニ持タセルト云フコトニナッテ居ルノデス

○作間委員 茲ダ諄イヤウデアリマスガ、モウ一過——同じ効力デアッテ、矢張破産債權者ニ對シテモ確定力ヲ認メラレルト云フコトニナルト、何ダカ、天災其他避クベカラザル事故ノ爲ニ出席シナカッタ場合ノ救濟トシテ、破産債權者ノ方ニモ許シテモ宜カラウト私ハ考ヘマスガ、先づ其位ニ止メテ置キマセウ

○岩崎委員 先程作間君カラ質問ノアッタ債權ノ拋棄云々ニ付テ、政府委員ハ御答辯ヲ留任サレテ居リマシタガ、是ハ此第二百七十九條第二百八十三條ノ規定ニ依ツテ、明瞭ニナル譯デアリマセヌカ

○山内政府委員 ソレハ斯ウ云フ問題デアリマス、作間君ノ御尋ハ、主トシテ除斥期間内ニ債權表ヲ更正スベキ事由ガ生ジタル場合ニ於テハ債權表ヲ更正スル、然ルニ其期間内ニ拋棄シテシマッタ場合ニハ、債權表ニハ債權者ノ氏名住所等ガ書イテアルカラ、其拋棄シタル債權ハ之ヲ更正スルト云ツテモ簡単ナ話デ削レバ宜イ、其事ハ二百六十三條ニ依テ矢張債權表ヲ更正スル、其債權表ノ中ヲ消シテシマウト云フヤウナコトガ、必要デナイカ知ラヌト私ハ考ヘテ居味ニ御解釋ヲ願ヒマス

○作間委員 兩方カラ連合シテ申立テタ場合デスカ

○山内政府委員 サウデス

○岩崎委員 私ハ此一百九十一條ニ付テ御尋シタイ「法人ニ在リテハ理事事又ハ之ニ準スヘキ者」之ニ準スベキト云フニハ、一體立法者ハドウ云フ風ノ者ヲ之ニ準ズルト云フ風ニ見タノデアリマセウカ

○作間委員 二、第三百十條ニ付テ、此四項目ノ場合ニ於テ強制和議ノ不認可ノ御決定ガ出来ルヤウニナッテ居リマスガ、コトハ差支ナカ、更正ニ對シテハドウカト云フ意味デ、御答ヲ留保シテ置イタ次第

○前田委員長 モウ御尋ハアリマセヌカ——アリマセヌケレバ第九章、強制和議ノ點ニ移リマス

○作間委員 此章ノ中ニ第三百條「裁判所ハ強制和議ノ提供者及監査委員ノ申立ニ因リ強制和議ノ爲ニスル債權者集

會ノ期日ヲ債權調査ノ一般期日ト併合スルコトヲ得」はハ裁判所ハ職權ヲ以テヤラレズシテ、強制和議ノ提供者及監査委員ノ申立ニ依ツテヤラレルコトニナッテ、管財人ノ申立ガ此中ニ認メラレテ居ラヌノデアリマスガ、管財人ノ

申立ヲ認メ、又假令管財人又ハ強制和議ノ提供者、及監査委員ノ申立ガナクテモ、裁判所ハ職權ヲ以テヤルト云フコトヲ御認ニナッタラドウカト思ヒマスガ、其邊ノ思召ハ無イノデゴザイマセウカ、私ハ裁判所ノ職權ヲ以テ合併スルコト、今一ツハ此申立ヲ爲シ得ル者ノ中ニ、破産管財人ヲ加ヘテハ如何デスカト云フ意見デス

○池田政府委員 管財人ニモ此申立ヲ許スベキデハナイカ、又職權ヲ以テモ此併合ヲ爲スコトヲ認メテハドウカト云フ御趣意デアリマスガ、是ハ和議ノ提供者ト、並ニ管財人ガ之ヲ申立テルト云フコトニナッテ居リマスレバ、例ヘバ管財人ヲ之ニ加フルノ必要ハ無イ、申立ノ必要ノアル場合ニ於テハ、是等ノ者ニ依ツテ適當ニ申立方出來ルコトデアル

ト信ジマス、又職權ヲ以テヤルト云フコトニ付キマシテモ、是ハ矢張此二ツノ期日ヲ併合致シマシテ、先づ債權ノ調査ヲ爲シ、強制和議ノ議事ヲ直ニスルト云フ便宜ノ爲デアリマス、是等ノ事ハ裁判所自身デ之ヲ押切ッテヤルト云フコトヨリモ、此關係者ノ申立ヲ聽イテ、其必要ニ應ジテ裁判所ガ然ルベク決定ヲスルト云フコトガ適切デアラウト云フコト、職權ノ方ハ認メナカッタ譯デアリマス

○山内政府委員 附加ヘテ置キマスガ、強制和議ト云フ關係ハ此所ニアル場合ノ事柄デアリマス、強制和議ノ提供者ノ意ニ反シテヤルト云フコトハ甚ダ困ルノデアリマス、此分ハ強制和議ノ提供者ト管財人ト、此兩方ノ申立ト云フ意味ニ御解釋ヲ願ヒマス

○作間委員 二、第三百十條ニ付テ、此四項目ノ場合ニ於テ強制和議ノ點ニ移リマスガ、或ハ特別ノ法人ニ依リマシテ、其結果トシテ、其債權者ニ配當スベキ金額ハ幾許ト充テアッタガ餘ル場合カアル、其餘ルモノヲ他ノ者ニ割當テルコトハ差支ナカ、更正ニ對シテハドウカト云フ意味デ、御答ヲ留保シテ置イタ次第

○池田政府委員 是ハ他ニモ用例ガアルコトデアリマス、テ、結局法人ノ代表者ト云フ趣旨ニナリマス、色々人稱ガ變ツテ居リマス、或ハ特別ノ法人ニ依リマシテ、總裁トカ

或ハ取締役トカ云フヤウニ、代表者ノ人稱ガ色々法律ニ依ツテ變ツテ居ルノ、テ「理事事又ハ」ト云フコトニサレテ居リマス

○作間委員 第三百十條ニ付テ、此四項目ノ場合ニ於テ強制和議ノ不認可ノ御決定ガ出来ルヤウニナッテ居リマスガ、

此外ニ強制和議ノ決議ガ、非常ニ或ル債權者ノ意思ニ反シテ偏頗ナ決議デアリマシテ、實際ニ於テ著シイ損害ヲ其債

權者が被ルト云フヤウナ場合ニハ、矢張其債権者カラモ、不認可決定ノ申立ヲ爲サシメテ宜ササウニ思フノデアリマスルガ、ソレハ如何デアリマセウカ

○池田政府委員 只今御示ノヤウナ場合ハ、例ヘバ三百二十九條ノ如キ「不正ノ方法ニ因リテ 成立スルニ至リマシタキニハ各破産債権者ハ強制和議ヲ以テ定メタル讓歩ヲ取消スコトヲ得ト云フコトニナッテ居ル。次第テアリマス、個々ノ債権者ガ今御述ニナッタヤウナ意思ニ反シテ 同意ヲシタト云フ場合ニ、ソレガ不正ノ方法ニ依タノカ、意思ニ反シタト云フノハ、脅迫ヲ受ケタト云フヤウナ場合デアラウト思ヒマス、斯ウ云フ場合ニハ、三百二十九條ニ依テ取消スコトニナッテ居リマス 第三百十條ノ方ノ規定ハ一旦成立チマシタ所ノ和議ノ決議ト云フモノハ、此一號乃至四號ニ掲ゲテ居リマスヤウナ、斯ウ云フ重大ナ場合ニ限テ其不認可ノ決定ヲスル、斯フ云フコトニナッテ居ルヤウナ次第デアリマス

○山内政府委員 附加ヘテ置キマスガ、三百四條デ 強制和議ノ條件ハ、各破産債権者ニ平等デナケレバナラヌ、——固ヨリ平等デナケレバナラヌコトニナッテ居リマスカラ、一人ノ債権者ガ特ニ不利益ヲ受ケルト云フヤウナ意味ニナルノデアリマス、ソコデ若シ不平等ニナッテ居テ、一人ガ無イ譯デアリマス、ソコデ若シ不平等ニナッテ居テ、一人ガ不利益ヲ受ケルト云フコトニナレバ、一號デ以テ法律ノ規定ニ決議ガ反シタト云フヤウナ 意味ニナルノデアリマステゾレデ平等ナレバ、一人ダケガ特ニ不利益ヲ受ケルコトハ無カラウト云フ考デアリマス

○作間委員 強制和議ノ決定ハ、大抵ノ場合山内 サンノノセニナル如ク、左様ニ決定セラルベキモノト思フノデアリマスルガ、併ナガラ此第三百四條ニ成程仰セノ如ク「強制和議ノ條件ハ各破産債権者ニ付平等ナルコトヲ要ス但シ不利益ヲ受クル者ノ同意アリタルトキハ此ノ限ニ在ラス」ニ依ツテ見マスト、不利益ハ受ケテモノソレハ同意ガアレバ宜イ、同意ノナイ限りハ常ニ公平デアル、只今山内サンノ御説明ノ御趣旨ハ、此三百四條ガアルガ故ニ、左様ニ相成ルノデアルト仰セラレルノデスカ

○山内政府委員 サウデス、而シテ此但書デスガ、是ハ實際ニナルト但書ハ非常ニ効クコト、考ヘマス、例ヘバ七十四銀行ノ如キモノニナリマシテモ、是ハ裁判外ノ和議デアルケレドモ、小預金者ニハ全部拂フ、大預金者ニハ幾ラ拂フ、斯ウ云フコトニナッテアリマス、其場合ニハ不利益ヲ受ケルノデアリマスガ、本則トシテハ必シモ平等デアル、

意思ニ反シテ、平等ニ反スレバ三百十條ガ効クコト云フ考デ

アリマス

○作間委員 三百三十二條、強制和議ガ 取消ノ決定ニナリマシタ場合、此場合ニハ初メ和議ノ條件トシテ、破産者ガ或ハ保證人ヲ立テタリ、或ハ他人カラ擔保ヲ提供シテ貰タリスル者ヲ立テタリ、或ハ他人カラ擔保ヲ提供シテ貰タリスル場合ガ往々ゴザイマスルガ、其場合ニ一旦取消ニナッタ以上ハ、其等破産債権者ノ爲ニサウ云フヤウニ承諾ヲシテ、自分ガ義務履行若クハ擔保提供ノ地位ニ立タウ、ソレダケノ責任ヲ果サウト申出マシタ者モ、總テ責任解除シテオヤリニナル思召デアリマスカ、強制和議ハ取消ノ決定ニナッテモ、一旦サウ云フヤウニ破産者ノ爲ニ義務履行、又ハ 擔保提供ヲ申出タ者ハ、破産債権者ノ利益ノ爲ニ其儘其義務ヲ履行セシムル、撤回ヲ留保セシメルト云フヤウナ 實際に便宜ノ御取扱ニ付テ御考ニナッタコトハ無カタノデアリマセウカ

○池田政府委員 只今ノ御話ノ點ハ三百三十二條ニ於テ、三百三十一條第一項ノ規定ヲ準用サレテ居リマス、即チ三百三十一條ハ「讓歩ノ取消ハ破産債権者ガ強制和議ニ因リテ得タル權利ニ影響ヲ及ホサス」ト云フコトニナッテ居リマス、即チ今御述ニナッタヤウナ 強制和議ノ爲ニ保證人トナリ、擔保ヲ供シタヤウナ者ニ付テ、債権者ガ得タ 権利ハ、影響ヲ被ムラナイト云フコトニナラウト思ヒマス

○作間委員 成程三百三十一條ニハ「讓歩ノ取消ハ破産債

権者ガ強制和議ニ因リテ得タル權利ニ影響ヲ及ホサス」ト

○池田政府委員 今問題ニセラレタ事項ハ、全ク 裁判所ノ

マス

○前田委員長 ソレデハ第十章、破産廢止ト云フ章ニ移リニスルト云フ考デアリマス

〔質問ナシト呼フ者アリ〕

○作間委員 第三百四十七條第三項デス「前項ノ規定ニ依ル決定ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス」ト云フコトニナッテ居リマスガ、是ハ裁判所デモ隨分御判断ニ苦ム點デニナッテ居リマスガ、アラウト思フ、破産債権者ニ供スペキ擔保ガ相當デアルカドウカ、ソレカラ未確定ノ債権ニ付テ、其ノ債権者ノ同意ヲ必要トスベキカ否カト云フコトハ、實際ノ狀況ニ照シテ、裁判所デモ餘程此御決定ニ苦心ヲ要スルト思ヒマス、ソレダケ又御決定其モノガ矢張動搖シ易クハナイカト思ヒマスガ、寧ロ不服ヲ申立テルコトヲ御許シニナッテ、正當ノ理由アル場合ニ於テハ、決定ヲ變更サレクラドウカト思ヒマスリマス、其決定致シマスニ付テハ、勿論相當考慮ヲ要スル點デアラウト思ヒマス、其考慮ヲ致シマシタ結果、是ハ未確定債権者ノ同意ヲ必要トシナイ、或ハ必要トスル、或ハ此位ノ擔保ナラバ宜シト云フコトヲ決メタ以上ハ、ソレヲ確定デ不服ヲ申立テルコトヲ許サナイト云フコトニシタ譯デアリマス

○池田政府委員 自由ノ裁量デ以テ 決定スベキ事項デアリマスカラ、ソレ

○前田委員長 皆サンドウデセウ、四時ヲ過ギマシタガ、御

質問ガナケレバ今日ハ此程度ニシテ 置イテ、アトハ明後日

デモヤシタラ如何ニセウカ

○渡邊委員 三百五十三條ノ場合ニ於テ、裁判所ガ職權ヲ以テ破産廢止ノ決定ヲ爲スト云フ場合ニ於テハ、裁判所ハ債権者集會ニ意見ヲ聽クコトヲ要スルトアリマスガ、若シ債権者集會ニ於テ破産廢止スベカラズト云フ意見ニ一致シタ場合ニ於テハ、矢張裁判所ハ破産廢止ノ決定ガ出來ルト云フ意味デスカ、拘束サレルノデスカ

○池田政府委員 是ハ債権者集會ノ意見ニ拘束ヲサレルト

云フ迄ノ意味ハナインデス、重大ナ影響アルコトデアリマスカラ、此儘テ進行スベキカ、或ハ廢止スベキカト云フコトヲ、集會ニ諸ルト云フダケデアリマス

○作間委員 破産財團ヲ以テ破産手續ノ費用ヲ償フニ足ラ

ズト御認ニナッテ、破産廢止ノ決定ガ一旦成ツテ、其後破産者

ガ追々身代ヲ持ヘテ、相當ノ資産ヲ有スル場合ニナッタ場合ノ取扱ハ如何ニナリマスカ

○山内政府委員 破産廢止ニナッテ後ニ破産財團ガ出來タ

ト云フコトニナリマスト、財產ガ出來タト云フコトニナリマスト

是ハ本來元財團ニ這入テ居ナイノデアリマスカ

アリマス

○作間委員 所謂擔保ノ場合ノ問題デアリマシテ、其擔保ガ物的擔保デアルト、保證人タル擔保デアルトヲ問ハ第三者ニ對シテハ利害ノアル關係デアリマスルガ、矢張具體的ニソレヲ明ニサレテ置カヌデモ、是ダケノ規定ニ依テ

第三者ガ十分ニ對抗ガ出來マセウカ

○山内政府委員 所謂擔保ノ場合ノ問題デアリマシテ、其

擔保ガ物的擔保デアルト、保證人タル擔保デアルトヲ問ハ

因リテ得タル權利トナルノデス、即チ強制和議ノ內容トナ

コトニ、廣く解釋シテ第三者ノ提供シタルモノニ對スル

アリマス

アリマス</p

ラ、後ノ一ツノ財産ニナリマスカラ、其財産ヲ破産デ差押ヘ  
ヤウツスルトキニハ、更ニ宣告ヲシナケレバ、債權者モ違  
ヒ、破産財團モ違フ所ノ手續ヲ復活サシテ、之ヲ擴ゲテヤル

ト云フ譯ニハ「寸行カナイノデアリマス

○作間委員 サウ致シマスト、其場合ニハ新ナル又破産宣  
告ヲ命ジテ、新ニ又破産ガ廢止サレル場合ガアルト云フコ  
トニナル、サウデナイ限りハ從來ノ舊キ破産宣告ハ、破産廢  
止ノ決定ヲ以テ一旦打切トナル譯デスカ

○山内政府委員 其通リデアリマス

○前田委員長 サウスレバ是マデニ止メマシテ、今日ハ是  
デ散會致シマス、サウシテ明後日ハ午前十時カラ始メマス  
午後四時二十一分散會

大正十一年三月二十六日印刷

大正十一年三月二十七日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局